



宮城県職員募集2025

一般事務②

業務紹介

◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、
企画等の行政事務

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : H26.3 宮城県気仙沼高校卒業
H26.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁12年目）

- H26.4～ **気仙沼地方振興事務所 総務部 管理班**
気仙沼合同庁舎の管理に関すること
- H29.4～ **保健福祉部 長寿社会政策課 企画推進班**
課の庶務・経理、敬老事業に関すること
- R2.4～ **総務部 秘書課 総務班(1年)・秘書班(2年)**
【総務班】課の庶務・経理 【秘書班】知事の秘書業務に関すること
- R5.4～ **農政部 食産業振興課 ブランド推進班(1年)・食ビジネス支援班(現在)**
【ブランド推進班】食育やSNS発信に関すること 【食ビジネス支援班】食品製造業者等の支援に関すること
※R6.3～R7.5 産前・産後休暇及び育児休業を取得 (R6.5月に出産)

志望動機

◆ なぜ公務員？

定期的な人事異動により様々な部署や分野での勤務を経験でき、常に新たな気持ちで仕事に臨めると思ったから

◆ なぜ宮城県庁？

市町村職員よりも広く、国家公務員よりも狭く、自分の理想とする範囲と視野で仕事ができると思ったから

これまでに担当した業務の紹介

① 敬老事業に関すること（保健福祉部 長寿社会政策課）

年度内に100歳になられる方々に対してお祝い状や記念品を贈る手配をしたり、県内の高齢者数や最高齢者の調査を行う

② 知事の秘書業務に関すること（総務部 秘書課）

日々多忙な知事の公務が円滑に進むよう、知事室の管理や来客応対、スケジュール管理や出張に関する経費の精算などを行う

現在の担当業務の紹介

農政部 食産業振興課 食ビジネス支援班

〈私が担当している業務〉

- 県内食品製造業者等の販路拡大を支援するため、首都圏で行われる大規模商談会への出展をサポートする
- 県内の加工食品等を県内外のバイヤーにPRするため、取引の契機となるようなガイドブックを作成する

〈そのほかにもこんな業務を担当している職員がいます！〉

- 経営状況が悪化している食品製造業者等にアドバイザーを派遣するなどし、経営状況の改善を図る
- SDG s に配慮した商品を開発しようとしている食品製造業者等に補助金を支給する など…

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- デスクワークや事務作業が多そう…
- 毎日忙しくて残業ばかりなのかな…

◆ 入庁してみたら…

- 出張が多い部署もあり、毎日机に向かうばかりではない！
- 時期によって業務量の波はあるものの、「この日は定時で帰ろう」とメリハリを付けながら仕事をしている職員が多い！

仕事をする上で心がけていること

◆ 職場の雰囲気は明るく！

どの部署に異動しても、「1日の大半を過ごす空間は楽しくなければ！」をモットーにしています。

◆ 業務の途中経過をこまめにチームと共有し、自分がいなくても仕事がまわる環境を整備する

子育て中のため、急に休まなければならない日が多々あります。急遽自分が休むことになっても、最低限の仕事は誰かが悩まずに処理できるよう、業務の経過報告をこまめにチームと共有したり、日頃から書類やデータを整理しておくよう常に心がけています。

印象に残っている業務

- 長寿社会政策課で敬老事業を担当した時は、県内の高齢者の方々から喜びや感謝の声を直接掛けていただく瞬間が多くあり、「県民の役に立つ仕事ができている！」という実感が湧きました。
- 食産業振興課1年目では、「高校生地産地消お弁当コンテスト」を担当しました。県内の高校生が一生懸命レシピを考えて審査会に臨み、制限時間内によりよい作品を仕上げようと頑張る姿を間近で見ることができ、感動したことを覚えています。

仕事のやりがい

◆ 担当する事業が成功を収めたとき

関係者のスケジュール調整や各種書類の作成、費用の計算など、事前調整が大変な仕事は多いですが、チームと協力しながら業務を進め、担当する事業が最終的に成功を収めたときは、やはり大きなやりがいを感じます。

◆ 「あなたならできる」と仕事を任せられたとき

公務員は営業成績を求められる職種ではありませんが、仕事に臨む姿勢を上司に認めてもらえた瞬間は、何歳になっても嬉しいものです。

職場の雰囲気

- 様々な学歴や職種の職員が一緒に仕事をしますが、「同じ課(班)になったらチームで仕事をしよう！」という想いを持っている職員が多いと思います。
- 時差勤務やテレワークの推進など、勤務形態の多様化が進んでおり、「働きやすさ」が年々向上していると感じます。
- 男性職員の育児休業取得の推進など、仕事と子育ての両立に協力的な体制が整備されています。

宮城県職員の魅力

- 自分の携わった業務が「宮城県」という大きな範囲に貢献していると思うと、他業種ではなかなか味わうことのできない大きな満足感ややりがいを感じることができます。
- 様々な部署での勤務を経験できることで、自分自身のレベルアップを日々感じながら仕事に臨むことができます。

私の公務員試験対策

◆ 前年度合格した先輩の参考書を使ってみる

直近の合格者が使ってよかった参考書を使うことが、一次試験通過の近道だと感じました。

◆ 面接練習はたくさんの人と行い、数をこなす

もちろん話す内容は大切ですが、それ以上に、「この人と一緒に仕事がしたいな」と面接官に思わせる話し方や雰囲気的大事だと思います。

先輩職員からのメッセージ

農林・水産・土木・福祉・観光・教育など…

転職をせずとも様々な分野での勤務を経験でき、異動の度に「その分野のプロフェッショナル」になっていけるのは、公務員の大きな魅力のひとつだと思います。

また、宮城県庁には、仕事とプライベートを両立しながら楽しんで働いている職員が大勢います。

日々やりがいを感じながら、ぜひ一緒に明るく働きましょう！